



令和6年第1回定例会

議会だより

第190号
令和6年6月

発行／喜茂別町議会
編集／議会広報編集委員会

●もくじ

第1回定例会及び第1回臨時会	
審議された議案と結果	P 2
第1回定例会	
議案の審議	P 4
総括質疑	P 6
予算特別委員会	P 14
議会の動き	P 26
編集後記	P 26

(写真…春の交通安全運動「旗の波」)



＜指定管理者の期間の変更＞

喜茂別町立診療所	令和３年４月１日から令和８年３月31日までに変更	原案可決	質問あり 4ページ
----------	--------------------------	------	--------------

＜計画変更＞

喜茂別町過疎地域持続的発展市町村計画	事業内容に保育所エアコン設置工事、給食運搬車両購入を追加	原案可決	
--------------------	------------------------------	------	--

＜令和５年度補正予算＞

一般会計（第10回）	小・中学生全日本スキー大会出場経費として58万9千円増額（専決処分）	原案承認	
一般会計（第11回）	各科目の不用額の減額補正、胆振線代替バス路線維持費補助金の増など7,800万9千円を減額	原案可決	質問あり 4ページ
一般会計（第12回）	全国選抜少年剣道大会出場に伴う経費について、水の郷きもべつまちづくり振興事業補助金を活用し73万6千円を増額し総額31億3,718万4千円とする	原案可決	
国民健康保険特別会計（第３回）	出産育児一時金対象者増による一般会計繰入金を増額、印刷製本費、後志広域連合分賦金の増額など32万9千円の増額	原案可決	
介護サービス事業特別会計（第１回）	送迎用バス故障によるデイサービス委託料の増額など45万円の増額	原案可決	
簡易水道事業特別会計（第４回）	事業費確定に伴う地方債の補正、不用額の減額など148万3千円を減額	原案可決	
公共下水道事業特別会計（第４回）	事業費確定に伴う助成金の減額、不用額の減額など1,849万2千円の減額	原案可決	

＜意見案＞

刑事訴訟法の再審規定（再審法）の改正を求める意見書	内容：えん罪被害者を一刻も早く救済するため、刑事訴訟法を速やかに改正するよう要望する 提出先：衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣等 提出者：岩部議員 賛成者：林議員 山下議員	原案可決	
食料自給率向上を政府の法的義務とすることを求める意見書	内容：食料自給率の向上を政府の法的義務とすることを求める 提出先：衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣等 提出者：山下議員 賛成者：越後議員 岩部議員	原案可決	

令和６年第１回臨時会（２月２１日）

審議内容は、以下の通りです

＜条例改正＞

喜茂別町手数料徴収条例	戸籍証明書の広域交付に係る規定の整理、戸籍のパスワード発行事務に係る規定の追加	原案可決	
-------------	---	------	--

＜令和５年度補正予算＞

一般会計（第７回）	北海道中学生スキー大会、出場経費として17万4千円増額（専決処分）	原案承認	
一般会計（第８回）	全国中学校スキー大会、出場経費として92万9千円増額（専決処分）	原案承認	
一般会計（第９回）	住宅税均等割課税世帯支援給付金、住民税非課税世帯支援給付金（子ども加算分）、住民税均等割世帯支援給付金（子ども加算分）、農業経営支援事業補助金など1,681万9千円増額	原案可決	

令和６年第１回定例会（３月１２日～３月１８日）

３月12日	町長より以下３件の行政報告がありました ①倶知安厚生病院の概況及び運営状況について ②喜茂別町避難行動要支援者避難行動支援プランの公表について ③罹災証明書の発行手続きマニュアルの公表について 下表の審議 令和６年度予算においては、３月18日に予算特別委員会を設置し集中的に審査（14ページ参照）
３月13日	町長より令和６年度町政執行方針の提案 教育長より令和６年度教育行政執行方針の提案 副町長より令和６年度一般会計・３特別会計・２事業会計予算の提案
３月14日	町政執行方針、教育行政執行方針に対する総括質疑（6ページ参照）
３月18日	予算特別委員会（14ページ参照）

＜令和6年度予算＞

一般会計	総額	30億3,612万円	原案可決	予算特別 委員会 14ページ
国民健康保険特別会計	総額	8,725万9千円	原案可決	
介護サービス事業特別会計	総額	2,100万円	原案可決	
後期高齢者医療特別会計	総額	4,572万8千円	原案可決	
簡易水道事業会計	【収益的収入及び支出】 収入 1億3,918万4千円 支出 1億3,463万4千円	【資本的収入及び支出】 収入 2,154万7千円 支出 4,529万円	原案可決	
下水道事業会計	【収益的収入及び支出】 収入 1億6,384万7千円 支出 1億6,611万5千円	【資本的収入及び支出】 収入 1億9,481万6千円 支出 2億2,796万7千円	原案可決	

＜人事＞

教育委員会委員の認定	新川 環さん（任期：R6.4.1～R10.3.31）	原案同意	
------------	----------------------------	------	--

＜条例改正＞

喜茂別町営住宅管理条例	配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律の一部改正に伴い、関連条例を改正	原案可決	
町税条例	令和５年４月から開始された全国統一ＱＲコードを利用した町税の収納において発生する事務負担の軽減や、納税者の利便性向上のため町税に係る督促手数料を廃止する改正	原案可決	
国民健康保険税条例	本年２月14日に開催した国民健康保険審議会において、令和６年度分の国民健康保険税を、北海道から通知された「市町村標準保険税率」に基づき見直すよう、答申を受けたことによるもの	原案可決	
喜茂別町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例	母体保護法施行規則等の一部を改正する内閣府令において、「特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準」の改正に伴う条例改正	原案可決	
喜茂別町個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正に伴い、関係条例を改正	原案可決	
喜茂別町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例及び喜茂別町職員の育児休業等に関する条例	会計年度任用職員に対する勤勉手当について、職員と同様の支給方法を採用	原案可決	質問あり 4ページ
職員の給与に関する条例	国家公務員の給与制度の改正に伴い改正	原案可決	

議案の審議

喜茂別町会計年度任用職員との給与及び費用弁償に関する条例及び喜茂別町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

林議員

会計年度任用職員について、土木作業員は労務職1級となり、1級65号俸までとなっている。

すでに上限に達しているが、今後どのように考えているのか。

内村町長

人事院勧告等々に基づいて、号俸によって給与改正があると思うが、現在のところ、上の号俸を適用する考えは持ち合わせていない。

大きな減額という形に見えるが、予算計上した段階の見積もりが多かったということである。

林議員

全体で7800万9千円の減額となっているが、通常は12月の定例会前に精査して、増減するものではないのか。

事務方として副町長は各課にどのような指示をしたのか。

東原副町長

原則的には12月の定例の中で、確定したもの、委託料、それから工事等々については減額するように11月の管理職会議の中では一応指示を出した。

林議員

協力隊の活動費など、特別交付税なので、非常にもったいない。

早急に判断し、他の事業に活用、決断が必要だったと思う。

東原副町長

当初予定していた人員がなかなか集まらず、頑張って年度末ギリギリまで対応していたとい

林議員

会計年度任用職員を長期で使った場合、職員化しなければならぬが、本町の財政状況では難しいので、基本給を少しでも見直すべきではないかと思う。

内村町長

給与の号俸について、改正する考えは今の段階では持ち合わせていない。

指定管理者の指定の期間の変更について

林議員

4年前、菅原前町長は医師確保のために、全国医師会や東京事務所、道庁を訪問して、医師派遣の要請を随分されていた。

私は今でも、前町長のこの行動が、東京事務所からの紹介による辻院長につながったと思っている。

この指定管理期間3年間で、他の医療関係団体に、どのような働きをかけてきたのか。

うところでは予定していた全部の予算をそのまま残していた。

ただ12月過ぎていけば、新しく協力隊が来たとしても、当然月数が少ないから、それなりの見込みというのは見れるし、差額分減額できると思うので、そこはまた改めて、新年度に向けて指示していきたい。



保育所 おさんぽ

表紙写真を募集します。

あなたの写真が議会だよりの表紙になります。

詳しくは議会事務局まで

東原副町長

新たな指定管理者が決まった以降も、医師不足であったので、当時お願いしてあった溪仁会、小樽の済生会、札幌の白石記念病院等々含めて、数か所の病院に直接出向いて現状及び今後に向けての協力、それから色々な形で支援の依頼等をしてきた。



町立クリニック



令和5年度喜茂別町一般会計補正予算(第11回)について

山下議員

住民税非課税世帯等支援給付金について、国から地域に落ちるお金なので、なるべく多くの方が受け取れるよう、町も働きかけるべきと以前質問した。

今回168万円の減額となっており、かなり多くの方が申請していないようにも見えるが、申請していない人に対して念を押したのか、あるいは単に該当者が少なかっただけなのか。

坂本元気応援課長

予算見積りの時点においては、住民税がまだ確定前だったため、国の考え方にならって令和3年度と同様の給付金の実績に基づいて予算を計上した。

その際の見込みについてはおよそ430件だったが、税額確定後373件と確認された。申請のなかった方への働きかけについては、電話等によって、勧奨を行ったところ、最終的に、3名が申請を頂かなかった。今回、168万円とちょっと

議会傍聴される方へのお願い

- 手洗い・咳エチケットの励行
- アルコール消毒液での手指の消毒
- 体調がすぐれない方は傍聴をご遠慮願います。



総括質疑

※総括質疑とは、新年度の予算案及び町政執行方針に対し、主に政策に対して総括的に質疑するものです。



えちご 越後 宏明議員

越後議員

昨年9月の大規模停電から半年経ったが、非常用電源の点検、そして職員の訓練は定期的に行われているか。

内村町長

確認作業は日々努めている。また、令和6年度予算の中でも、庁舎への非常用発電機の設定箇所を整備を行うことにし、ハードとソフトの両方から進めたい。

越後議員

もしもの時の職員の役割分担、そして職員が役場に来ていない時間帯の連絡方法について、どう打ち合わせしているのか。

内村町長

長期休暇等々では、各管理職を中心に行動の把握に努め、連絡網について、防災監を中心に定めてやっていただくとと思う。

越後議員

町立クリニックの収益を上げる案として、自由診療の導入について町長の考え方を伺いたい。

内村町長

院長からも、そういったお話もいただいているので、詳しいところをさらに詰めて、できるだけ速やかにできるように進めたい。

越後議員

鈴川駐在所の存続について、今後どう進めていくのか。

そして、町民に対しての防犯対策は何かやっているのか。

内村町長

鈴川駐在所については、昨年

度、住民の方々と私と俱知安署長に申し入れをさせていただいて、その後は特に俱知安署からは動きがない。

今後においても引き続き要望したい。

町民の防犯の観点であるが、高齢の方々とか、子どもたちの防犯体制ということで例年年末に、防犯の取り組みをさせていただいていた。

様々な啓発やグッズの配布とかは、今後とも引き続き喜茂別町防犯協会も通じて進めたい。

越後議員

近年は強盗や詐欺事件などが急激に増加している。

町民の命を守るという観点から、町民には何かしらの対策をしなければいけない。

高齢者の世帯だけでも、歩いたらガシャガシャいう石とか、防犯カメラ、人が映るインターフォン等に対して、なにか補助金を少し考えて欲しい。

内村町長

補助がいいのか、支給がいいのか、その辺も含めて検討をさせていただきたい。

内村町長

愛和福祉会から職員を派遣していただいて、専門的な観点から、町職員と様々な意見交換を行うことによって、それぞれのスキル向上を図っていこうというのが一つの考え方である。

障害のサービスについては、現状、お子さんから高齢の方まで多様なものがあると思う。

それらに広く対応していくには、一つの事業所だけとか役場の窓口だけではなく、専門的な職種の方々が色々な相談を幅広く捉えて、対応をしていけるような窓口が必要ではないかという考え方である。

今、適応障害とか発達障害とかいろいろある中で、どこに相談をしていいのかわからないという話も伺ったりする。



あべ しょうじ 阿部 昭司議員

阿部議員

執行方針に「町道区画線工事やカーブミラーの設置・補修に必要な応じて交通安全対策に努める」とあるが、どこに、どのような対策に努めるのか。

内村町長

調査をして、優先度をつけて整備することかと思う。

町道については町が設置するし、国道・道道については、要請を通じて設置していただく。

阿部議員

執行方針に「地域公共交通の運行体制について令和7年度よりはじまる総合計画に位置付ける」とあるが、具体的にはどのようなことを示唆しているのか。

内村町長

デマンドタクシーも一つの方



やました じゅん 山下 純議員

山下議員

執行方針に「空き家バンクへの登録を勧奨してまいります」とあるが、どのように勧奨するのか。

内村町長

空き家が発生した際に、担当職員からお声がけをさせていただくとか継続的に行っていくか。

場合によっては、そういったことを専門に行っていたら不動産関係のところと連携をするとか、そういった方を協力隊として誘致して掘り起こしを図っていくとかも一つの方法かと思う。

山下議員

以前、物が片付いていないため空き家バンクに登録できない人がいるという話があった。他にもきつと様々な事情で空

銃の免許も持っており、猟友会にも加盟を是非していただいて、一緒に有害鳥獣の駆除にあたっていただきたい。

また、駆除した後の有効的な活用についても検討していただきたい。

阿部議員

有効活用とは、例えば食肉加工を指しているのか。

内村町長

これまでも、本町で駆除された鹿肉を他町村で加工されて、本町のふるさと納税の返礼品の

銃の免許も持っており、猟友会にも加盟を是非していただいて、一緒に有害鳥獣の駆除にあたっていただきたい。

また、駆除した後の有効的な活用についても検討していただきたい。

阿部議員

執行方針に「元氣応援課に新たに直営で障害福祉サービスに関わる相談支援事業所を立ち上げる」とあるが、具体的にはどのようなことを指しているのか。



令和6年度 町政執行方針

き家を処分したいけれど、空き家バンクに登録できない人がいると思う。

執行方針に「今年空き家調査を実施する」と書いてあるが、空き家が何件あったかだけではなく、なぜ売ったり貸したりできないのか、なぜ空き家バンクに登録できないのか、そしてどうすれば解決できるのか、その辺りまで、しっかり調査して、柔軟に対応するべきだと思う。

内村町長

空き家調査について、どうしたら登録していただけるか検討をさらに進めたい。

また、この調査を実施した後には、広報等を通じて住民の皆様への周知を行いたい。

山下議員

執行方針に「結婚・出産・子育てといった個人の希望が叶えられるような環境づくりを進めてまいります」とある。

出産、子育てに関しては、十分力を入れていると感じているが、結婚に関しては、力を入れているように思えない。

自治体によっては、マッチングアプリに補助金を出すところ

も出てきている。
新年度で何か考えていることがあれば聞かせてほしい。

内村町長

結婚の支援は、非常に繊細な問題だと思う。

今、出会いに対してのアプリもあることは承知しているし、自治体と結婚紹介所との連携によって、機会を作っていくという取り組みがされていることも承知をしている。

そういったものについて本町の対象となる方々がどういった希望をお持ちなのか意向を伺い、それに沿った形で、進めていくことが肝要だと思う。

山下議員

本町は学力テストの結果も良く、授業内容なども、非常に先進的なもののように思う。

勉強面では心配していないが、一方で今回の執行方針についてもそうだが、性教育という言葉が出てきていない。

現在はSNSが発達したこともあり、SNSをきっかけとした性被害に小学生や中学生が巻き込まれることも増えている。また少しずつ理解が広がって

きてはいるものの、性的少数者が生きづらさを抱えたり、不妊治療への理解も社会的には不足していると言われている。

また、本町の議会でも女性議員は1人もいないが、女性の政治や経済面での社会進出は遅れている。

さらには女性の生理についても、男性も理解を広げるべきだとも言われている。

このように社会が目まぐるしく変化しているが、性教育についても、時代に合わせて変化していく必要がある、ますます重要になってくると思う。

本町においても対策は取っていると思うが、被害者や加害者を出さないため、そしてこれらの社会できちんと多様性を受け入れられるような人材を育むためにも、勉強面だけではなく性教育も先進的なものにしていくべきだと思う。

本町では住民意識の高まりがないということで、未だに同性パートナーシップ制度は導入していないが、教育を通じて、子どもたちから様々な住民意識の高まりをつくるのが将来的に本町の発展につながるのではないかなと思っています。

細田教育長

命の大切さを知る授業ということで、外部人材を活用した授業を実施して、その中に性教育も含めた授業を展開している。また、他者を認め多様な考え方を理解するということについては、人権教育を中心に実施しており、こちらについても外部人材を活用している。



いわべ 剛 議員

岩部議員

予算案の概要を見ると人件費が大きく膨らみ、基金残高が大きく減り、これは危機的な状況に見られるが、人件費の抑制など町長の考えを伺いたい。

内村町長

さらなる削減の努力は必要になってきていると思っている。ただ、各産業の中で人手不足がいわれており、賃金の上昇が

への影響はいかなものか。

細田教育長

閉校に向けての教職員加配制度というものが、教員1名を配置することにより、校長の職務の軽減を図ってまいりたい。

また、校長職は外へ出る業務が非常に多いので、その際は、教育委員会ですべてカバーするという体制をとる予定にしている。

みられているので、そういったところの兼ね合いも見ながら、今後議論していかなければならないと考えている。

岩部議員

後志管内で既に6町村で補助されている帯状疱疹ワクチンの予防接種について、令和4年9月定例会で質問したが、令和6年度予算に計上されていないが、どのように考えているのか。

内村町長

やり方がいろいろあり、さらに検討を進めてまいりたい。

ただ、財政状況については非常に厳しいものがあり、どこに優先順位をつけていくのか、考慮しながら進めていきたい。

また、定期接種の1つとして国も検討された時期があったと聞いている。

ただ、コロナの関係が出てきて、今ちょっと中断しているというようなこともあるので、そういったところも見据えながら、本町にとってどういうやり方をしていったらいいのか、引き続き検討したい。

岩部議員

昨年は本町では、2件の交通事故により2名が亡くなっている。

スピードダウンを表示するラインを引いたにも関わらず、上尻別で正面衝突の事故で1人犠牲者を出している。

交通安全の看板を設置したり、交差点の信号を車道と歩道で分けたり（歩車分離式信号）することも交通事故削減に必要だと思うが、どのように考えるか。

内村町長

交通安全対策については、やりすぎということはないと思うので、色々な形の中で行っていくことが必要と考えている。

ただ、予算の関係もあるので、町がやるべきところなのか、また国・道への要請によって実施をしていただくものなのか、その辺も見極めながら進めたい。

岩部議員

執行方針に「有害鳥獣対策に地域おこし協力隊制度を導入する」とあるが、鹿肉の加工施設が必要と思うが、どのよ

うに考えているか。

内村町長

現在、本町で捕獲されている鹿の数が非常に多くなっている中で、一部有効活用しているが、大部分が処理している。

加工施設に繋がっていくようなものなのか、もしくは違う形のもので展開をするのか、幅広く検討していきたい。

岩部議員

加工施設は、鈴川小学校が令和6年度で閉校を迎えるので、有効活用するのがいいと思うが、どのような考えか。

内村町長

鈴川小学校の今後のあり方については、これから地域の方々と様々な意見交換をさせていただきながら、有効活用を進めてまいりたい。

鹿肉の加工施設も一つの方法と思う。

岩部議員

令和6年度をもって閉校が決まった鈴川小学校で、残りの1年間は、児童人数の関係で教頭先生の配置がされないが、教育



はやし かつひと 議員

林議員

オロウエン尻別川の護岸プロジェクトが崩れてきている。

毎年、北海道にオロウエン尻別川の河川改修の要望をしているのに、なぜ本町の三大河川といわれるオロウエン尻別川の記載が執行方針にないのか。

内村町長

尻別川水系の中に、オロウエン尻別川も含めて、河川改修の要望をしている。

林議員

尻別川、喜茂別川で、どの箇所を危険箇所と認識し、北海道に要望しているのか。

内村町長

様々な箇所あるうかと思うが、オロウエン尻別川から尻別川への入り込むところ、それから双葉地区では一二三橋付近。

河川の状態は日々変化してくるので、そういったところを踏まえて関係機関への要望とさせていただいている。

林議員

私の認識では、尻別川は、広島橋より下流の右岸、災害により、根固めブロックを行い、さらにテトラを置いて、護岸ブロックを守ってきたが、テトラが流されて洗掘されてきており、これが流されると国道276号線が破壊される。

一二三橋下流左岸、名取地先右岸、鈴川福井地先左岸、まち

り200万台に減少した。

俱知安ニセコや函館方面へ向かう道路は、国道5号線、広域農道フルーツ街道、国道393号線、さらに高速道路が整備される。

また、定山溪から京極へ抜ける道路の整備を関係町村は要望していると聞いている。

通過客が減少すると道の駅、郷の駅、またコンビニや直売を経営している商工業者には大打撃となる。

国道230号線の再整備について、現在、関係町村とどのような連携をし、関係官庁にどのような要望をされているのか。

内村町長

小樽開発建設部と意見交換をさせていただいており、その中で以前から要望させていただいている中山峠のトンネル化についても、町の考え方を述べさせていただいている。

また、豊浦町、洞爺湖町、留寿都村と4町村で、これまでも勉強会等を開催させていただいている。

今後、小樽開発建設部とこの4町村の期成会、札幌市、それから札幌開発建設部とも、様々

の中は、神社跨線橋下流の右岸ブロック、右岸などは毎回、災害があるたびに、ブロックをえぐる危険な箇所である。

直接役場が関係あるとしたら、喜茂別川だが、越後地先右岸、ニチモク林産右岸、富田地先右岸。

特に、富田地先右岸は、十数年前に堤防が決壊寸前となり、大型土のうではもたないということ、前町長の判断で留産地区に積んであった北海道所有の大型コンクリートテトラを、川に投げ込んで堤防を守った経緯がある。

決壊したら消防も役場も水浸しになり機能不全となっていた。そういう箇所についても、これから北海道に要望していただきたい。

内村町長

その辺について引き続き要望したい。

林議員

農産物の生産振興について、この度の新クレードル興農株式会社との地元説明会でスイートコーンに力を入れ売上げを伸ば

な形で意見交換をさせていただく場面を作っていきたい。

この要望については、後志総合開発期成会の中の要望事項としても取り上げていただいているところであり、引き続きこの要望を進めたい。

林議員

企業版ふるさと納税について、執行方針に「企業を募る仕組みを構築する事業者と連携を図り」とあるが、どのような事業者なのか具体的に教えてほしい。

内村町長

企業版について、町の事業等に対して、ご協力いただける企業がそれを見つけて、この企業からふるさと納税をしていたくというものである。

様々な方面で町の取り組みをPRすることが一つの方法と考えているし、また、そういったことを専門に行われている企業もあると伺っているので、連携を図りながら進めていきたい。

林議員

骨格予算の令和6年度当初予算で財政調整基金1億8800

したいという説明があったが、令和6年度予算に全然記述はない。

農家や、ようてい農協から要望はなかったのか。

内村町長

要望はいただいている。令和6年度は、ゆり根の種子代も一部助成するが、これは農協から要望があった。

林議員

今の話を聞いたら、来るまで待つというニュアンスに取れる。

私はこれだけの施設と雇用を確保していただいた親会社の、コープさつぽろの決断にはとても感謝している。

これからは、町が逆に、主体的に、話し合いの場を設けて、色々な意見を吸い取って、町の農政に反映させていただきたい。

内村町長

クレードルの社長、工場長とも、機会あるたびに、いろいろな話はさせていただいているが、具体的な要望としてあげられている状況ではない。

万円、目的基金を含めると2億4100万円を取り崩す政策を提案しているが、これは健全な財政運営なのか。

東原副町長

財政調整基金がかなり厳しくなってきたので、改めて6年度さらに見直しをかけ、7年度へ向けて削減できるものはないのか、それから自分たちの仕事のやり方を検討しながらどのようにしてやっていけるのか新たに検討しながら指示してやっていきたい。



きくち みつお 菊地 光男議員

菊地議員

1期4年間の行政執行における思いと総括について伺う。

内村町長

私が町長に就任する前のシミュレーションでは、令和4年度財政調整基金も枯渇する状況

今後とも様々な話し合いを通じて、クレードルが主体的に、農協それから農家と話し合いを設けて要望等を出していただけることをご期待申し上げる。

林議員

町長の肝入りで、副町長時代に平成24年度から平成28年度までミズナラや桜などの植林を行った尻別地区のコープの森について、近年どのようなになっているのか。

内村町長

鹿の被害はかなりあったと伺っており、2年目からは被害を防ぐ装置もつけて管理をして、成果も一定程度みられていて伺っている。

コープの植林が終えた後には、管理等々行ってきたが、十分な成長まで至っているかについては、その当時の状況からして、難しい部分があった。

林議員

昭和59年代から中山峠は560万人の通過客がいた。

国道276号線、美笛峠が全面開通した時に約400万人に減少し、小樽の観光ブームによ

が想定されていた。

そこは何としても回避しなければならぬということで、副町長の配置もなかった。

入る部分を増やすことも必要ということ、ふるさと納税の関係、それから各企業に町内で事業展開をしていただけないかお願いしながら回ってきた。

その一つとして、環境省の補助事業に結びついたと思う。

農業については、新規就農とか、高齢化への対応について十分に回らなかったというのが正直な思いである。

人口も2000人を切ってしまい、非常に残念で申し訳ない。なかなか思いが空回りしたなという部分も正直あり、職員のああいっただ事件も起きてしまったと反省をしている。

今後町政を担っていただく方には、まず財政、それからできるだけ子どもたちの環境の充実をやっていたらいいのではないかと考えている。

菊地議員

財政が町の全くの要であるが、国の地方交付税に頼って確立していかなければならない。本町のような小さい自治体が



喜茂別小学校

令和7年そして令和8年の予算策定にあたっては、非常に厳しい状況が想定される。

内村町長

私なりに見たところ、頑張つて2年とか3年、ひよつとしたら令和8年度は相当厳しい財政状況になるのではないかと危惧しているが、その辺の見通しについては、どのような判断がされているか。

日下議員

高齢の方には、状況をご理解いただくようなことも必要になってくるのではないかなと思う。

抱える問題点と、コロナ対策交付金もなくなった中での思いを、もう一度強くお答えいただければと思う。

内村町長

本当に地方のことを国が考え、国の様々な事業を地方で実現しようとすれば、補助とか助成金ではなく、地方が自由に使える地方交付税の充実は欠くことのできないものだと思う。

様々な機会とらえて、交付税の法定参入率のあり方についても意見を言わせていただいた。次期の方についても是非この地方の思いを国に反映させていたでいて、様々な事業が展開できるように、お願いをしていくことが必要と思っている。

また、歳出削減の不断の努力は、執行部だけでなく、職員の様々なアイディアも必要になってくる。

そういった点においては職員の育成が重要になるかと思うので、職員の研修等々の充実も図っていくことが重要ではないかなと考えている。

日下議員

小中一貫校について令和7年度までには、一定方向を出す

くさか ひろふみ
日下 博文議員

日下議員

昨年度の執行方針で「小中一貫教育を見据えた本町における義務教育のあり方について検討を進めてまいります」と述べられていた。

翻って、今年の執行方針では『小中一貫教育を見据えた』という文言が、そっくり落としており、小中一貫校に対する研究とか、一歩後退したという印象を受けたが、なぜ、敢えて落としたのか。

細田教育長

小中一貫教育の必要性についての共通認識まで至っているので、敢えて抜かせていただいた。今、私もハツとしたが、反省しなければいけないと思う。

日下議員

小中一貫校について令和7年度までには、一定方向を出す

おがわ たいき
小川 泰樹議員

小川議員

空き家対策と、新しい家を作りたいという人に対して、今後どのように考えているのか。

内村町長

空き家になりそうなどの情報の提供をいただきながら進めていくことが肝要かなと考えている。

住宅建設用地がないという話についても、現在町が持っている土地では、大きな宅地分譲をするようなところは、市街地の中ではほほえない。

民間住宅の所有者の考え方も、ヒアリングの機会を設けて進めていくことも必要ではないかなと思っています。

小川議員

女子野球選手を受け入れる体制について何か変化はあったのか、あと現在、町で2名女子野

いう認識でいたが、確認の意味で、ご答弁をいただきたい。

細田教育長

遅くとも令和7年度には、一定の方向性を出していく必要があるだろうと考えている。

日下議員

教育長の任期は6月30日までと承知しているが、引き続き今教育長が取り組んでいることを担っていただけるようになるよう町長は希望するか。

内村町長

これまで教育長が進めてきたことを引き続き担っていただくことが、非常に重要なことではないかなと考えている。

日下議員

教育長の思いを実現するには、引き続きその任を、全うしていただけるのがよいのかなと思っています。

町長が7月いっぱいまで終わるので、次の新たな町長に、教育長の選任を担っていただくという考え方もある。

ただし、町長の任期前に教育長の任期が切れるから、6月の

球選手採用していると思うが、今後この2名の雇用についてはどのように考えているのか。

内村町長

まだ事業所に採用されたことはないが、女子野球チームとしてもどういった形でこちらに住んで野球をできるかということについて検討をしていたでいてる。

現在2名採用している職員について、1名は本町の職員として採用し、1名は羊蹄山ろく消防組合の職員として今後もこの地域において野球を続けていくという状況にある。

小川議員

鈴川小学校閉校に関して、鈴川小学校の太鼓については、地域の方とかと、今後どうするということ話し合いはされているのか。

細田教育長

学校としての取り組みについてはできなくなるが、今後地域の活動として、鈴小太鼓を残していくのかどうかは、今後の地域との話し合いの中で決定していくのではないかと考えている。

定例会に、教育長の同意を議会に求めるという考え方もあると思う。

今現在、町長はどういうふうに考えているのか。

内村町長

これまで教育長が実践してきた教育環境を引き続き担っていただきたい。

できれば6月の中で、教育長の同意をいただけるよう努力をしていきたい。

日下議員

4年間担われて、厳しい財政状況の中、どの辺りを削り、どのあたりを伸ばしていくのがよいという認識にあるのか。

内村町長

「自分たちのことはもういいから子どもをやるから」という話は多くのお年寄りの方からされた。

そういった点も踏まえて、教育の部分については、できるだけの力を注いできたつもりだ。

子育ての制度を充実させている自治体、また学校教育の関係に力を入れている自治体は、どちらかというと人口減少の基調

**次の定例会は
6月20日開会を予定しております。
町民の方の傍聴をお待ちしております。**

日程は、IP告知端末又は議会事務局
(TEL 33-2217) で確認ください。

予算特別委員会

令和6年度喜茂別町一般会計予算について

越後委員

農業費に給料314万9千円と計上されているが何か。

大元農林課長

農業委員会事務局の職員給与費が道の補助対象になり、1名の1年分の給料である。

越後委員

農業次世代人材投資事業補助金、多面的機能支払交付金はそれぞれどういうものか。

大元農林課長

農業次世代人材投資事業補助金は、新規就農者の経営が軌道に乗るまでの5年間、国の補助事業で1名あたり150万円となっている。

多面的機能支払交付金事業は農村が有する多面的機能が適切に維持・発揮されるよう地域の

について、総務省から見直しの要請を受けた」とあったが、改訂はされたのか。

齊藤総務課長補佐

委託業者に発注しているが、まだ策定中である。

岩部委員

地域計画の策定について進捗状況はどうか。

大元農林課長

令和7年の3月31日までに作成することになっており、1月以降、農業者や農地所有者にアンケート調査を実施している。

その後、アンケート調査の回収、分析と並行して2月から3月にかけて町内4か所で地域の方々との話し合いの場を設け、意見をいただき、現在は結果を整理している。

岩部委員

この計画の必要性和今後のスケジュールをどのように考えているか。

大元農林課長

高齢化とか農業者の減少によ

共同活動を支援するものである。農地、水路、農道の保全等、地域で実施する事業について支援しており、本町では4団体に交付している。

内訳としては、国が50%、道と町が25%ずつ負担している。

越後委員

ブロッコリーが農林水産省により指定野菜に追加されることが発表されたが、本町として、対象農家に支援等考えていることはあるか。

そして、指定野菜になることによる生産農家へのメリットはどのようなことがあるか。

大元農林課長

現在、まだ具体的な話はないので今後の課題になるうかと思うし、農業者に対するメリットも出てくると思う。

越後委員

指定野菜になることにより、ブロッコリーを始めようという農家も出てくると思う。

例えば、ブロッコリーを植える機械とか、農機に対して、国からの補助金はあるのか。

なければ本町として、補助金を出すことを考えているのか。

大元農林課長

農機具に関しては、国の補助事業がある。

こちらはブロッコリーに限らず、農業用の機械で購入を希望する場合には、町を経由して申請している。

ブロッコリーの機械も対象になるのであれば、町を通じて申請することは可能かと思う。

越後委員

役場庁舎非常用発電機架台設置工事に528万円計上されているが、現在使用中の発電機を新たに架台に取り付けるという認識でよろしいか。

井原まちづくり振興課長

そのとおりである。

越後委員

現在、発電機はどのようなところに置かれているか。

井原まちづくり振興課長

役場の車庫に2台、武道館向えの除雪センターに1台である。

越後委員

防災に關しての予算は、惜しみなくつけていただきたいと思うが、町長はどう考えるか。

内村町長

命に直結するようなものも多と思うので、優先度はつけなければならぬ。

岩部委員

住宅リフォーム補助事業の実績はどれぐらいあるか。

秋山建設課長

令和5年度で、9件の利用実績があり、過去の年度もだいたい10件前後で推移している。

岩部委員

パークゴルフ休憩所改修工事ほどのようなものになるか。

秋山建設課長

扉等ついていないので、利用者から要望があり設置する。

岩部委員

令和5年度の執行方針に「喜茂別町公共施設等総合管理計画

り農地が適切に利用されなくなることを防ぐため、将来の担い手を考えて地図に示していくものである。

法令に定まったものなので策定しないという選択肢はないが、この地域計画がなければ、農業機械購入などの補助事業への応募とか、資金調達の決定等に影響が大きくあると伺っている。

この他、今後、この地域計画の策定がいろいろな要件の1つになるという動きもあり、この計画の位置付けは大きい。

今後について、まず2月から3月に実施した協議の結果をホームページで公表する。

また、アンケート調査票の回収や聞き取りなどを行い、地域の実情に即した将来の目指すべき姿を地域計画として整理していきたいと考えている。

策定まであと1年あるが、これから農作業が本格化するとなかなか集まっていたくことも難しいことから、夏場は訪問の折りなどいろいろな場面を活用して意見をお伺いして進めていく予定である。

岩部委員

ホワイトアスパラガス振興奨励事業の補助金は、昨年あったが令和6年度はつけないのか。

大元農林課長

昨年度まではクレードルへ出荷した方の経費の一部を支援するというところで取り組んでいた。

過去の経過を鑑みると、本町が出資していたクレードルに対しての支援と位置づけると、昨年クレードルが新しい会社になり、出資関係がなくなった現在、同様の補助制度で支援していくことは難しいというところで、令和6年度は計上していない。

岩部委員

喜茂別町女性団体連絡協議会補助金が次年度はないのか。

丸屋教育次長

今年度末をもって解散するので計上していない。

岩部委員

教育方針で「喜茂別町らしい生涯学習社会の実現として人生

100年時代を見据え、全ての人のウェルビーイングの実現のため、個人や社会の課題解決につながる学習機会を保障する」とあるが、ウェルビーイングの実現とはどのようなものか。

細田教育長

ウェルビーイングという言葉については、肉体的、精神的な幸福感ということを指し、その幸福感だけではなくて、その幸福をもたらし良い環境ということも含め、包括的な言葉となっている。

阿部委員

現在、保育所では和式トイレがないが、小学校へ進学の際、生活環境が変わるため、体調不良なども考えられる。

小学校の和式トイレ改修に向けて検討しているのか。

細田教育長

令和6年度の当初予算としては計上されていない。教育委員会は、予算要望してきたが、昨年の記録的な猛暑で、そちらの環境整備を最優先した。

阿部委員

3月9日に現地調査をしてきたが、洋式トイレ1、和式トイレ2の構成で設置されており、和式トイレは合計10か所あった。

最低今年度5か所を改修し、洋式2、和式1の構成で設置し、子どもたちの健康管理が改善されると思われる。

財源については、体育施設整備基金を運用するなど早急に改修に努めるべきだと強く求める。

内村町長

財源として体育施設整備基金を活用できるかどうか検討させていた দিয়ে、他の補助金とか起債とかも検討しながら、できるだけ早く環境の整備を進めていけるように取り組んでいければと考えている。

阿部委員

執行方針では「カーブミラーの設置・補修など必要に応じて交通安全対策に努める」とある。神社の参道は、国道230号線進行の際、ゆるいカーブが左

右の車両の確認がとても難しく、カーブミラーの設置が必要と思うが、町長の見解を伺う。

内村町長

今色々聞いている中では国道側としては、侵入にあたってそれほど危険度の高い箇所ではないという判断もあるようなので、危険と判断した場合には、早急に設置をしていきたい。

阿部委員

ただ今、町長の答弁では危険でないという判断だが、来ないと思っけていても国道に出た瞬間後ろに瞬発的に来る。

交通事故がないのが不思議なくらいである。

開発局に強く要請をして、早く設置していただきたい。

特に、秋祭りあるいはお正月の参拝となると、非常に多くの車が出入りをする。

ぜひ交通事故を未然に防ぐ意味でも、カーブミラーの設定を強く求める。

内村町長

私が危険と判断してないというのではなく、国の判断とし

て、優先度が高くないということである。

執行方針に「総合計画に位置付けをしてまいります」と書いている以上、本年度どの段階で準備するのか伺いたい。

阿部委員**井原まちづくり振興課長**

デマンドタクシーの導入を再三提唱してきた。

地域公共活性化協議会を年度明けすぐに開催して、どのようなのが望ましいのか検討したい。

井原まちづくり振興課長

町内の業者が廃業を余儀なくされたことから、全体的に見直しを考えていかななくてはならない状況に陥った。

国の補助制度については、引き続き4月以降、地域公共活性化委員会を開き、どのようなものが望ましいのか、早急に検討したい。

阿部委員

これについては5年間質問を続けてきたが、毎回「検討してまいります」あるいは「改善してまいります」と聞いており、5年経ってもまだ出発できない。

林委員

地域おこし協力隊募集業務委託料は、何を基準にどの団体に業務委託するのか。

井原まちづくり振興課長

地域の情報を道内外へ発信することが目的で、移住希望者をマッチングさせるノウハウを構築している協力隊OBの業者に考えている。

林委員

地域おこし協力隊活動支援事業負担金は、どの団体に支援事業を予定しているのか。

井原まちづくり振興課長

町内の実績ある2つの団体と、協力隊OBの事業者を考えている。

林委員

近年は協力隊の定住がないが、隊員も支援事業者との対話に応じ、定住促進を図っていた。

町からのサポート体制についてお聞きしたい。

本町は5年間検討するということがかなり出遅れている。

近隣調査に行くともう第2、第3段階に進んでいる。

スタートすることが大事ではないかと思う。

内村町長

町内の事業者の状況が若干令和5年度の中で、変わったことも踏まえながら、令和7年度から始まる総合計画の中に位置付けるといことなので、できるだけ令和7年度の早い段階から、スタートを切れるような形で進めたい。

阿部委員

町立クリニックスの指定管理に

井原まちづくり振興課長

毎月、月1のミーティングを行い、サポート支援の団体に対しては、定期的に相談を継続して情報交換を担っていきたい。

林委員

役場庁舎非常用発電機架台設置工事は、どこに何キロの発電機を設置するのか。

井原まちづくり振興課長

庁舎西側花壇のそばに1mの高さの架台に45キロ規模の発電機1台、屋根をつける形状で考えている。

林委員

45キロの発電機で役場全ての電気のバックアップは可能か。

井原まちづくり振興課長

緊急時のため100%とは言えない。

必要な庁舎のパソコンと電気の供給を賄えるように見込んでいる。

林委員

稼働するのに時間がかかるの

コロナが5類になったことからワクチン接種が減少し、令和4年度の決算では2700万円の医療報酬があったが、全くなかった。

阿部委員

指定法人より収支見込みの提出をいただき、その内容の妥当性、経費の節減、また町としてできる支援等について継続して検討を進めてきた。

坂本元気応援課長

ついて、当初予算では4200万円で計上されているが、契約の締結に向けてどこまで話を進めておられるのか。

内村町長

円から5000万円だと思ふ。令和6年度、財源不足が発生した場合、本町の負担をどのように考えているのか。

阿部委員

指定管理なので、その範囲の中で、運営をしていただくというのが基本的なところと思う。ただ、仮に赤字が大幅に出ることが想定をされるのであれば、年度の途中で、また議会の皆さんにもご相談を申し上げる機会が出るかもしれない。

院長と月に1回、議論させていた দিয়েいるが、今後の指定管理の運営についても町長と直に話したいという希望を持っている。

自治体の大きな責務は住民の生命と健康を守ることだ。

この責任を背負って、町長が院長と契約締結に向けて交渉していた দিয়েきたい。

内村町長

これまでも機会あるごとに院長とお話してきたので、全然問題はない。

であれば、配線を役場の外壁に
這わせ、今置いてある車庫棟の
近くで接続して距離が長ければ
太い配線にすれば可能ではない
か。

井原まちづくり振興課長

緊急時に備え付けて、分電盤
から配線も常時つけっぱなしで
迅速な対応を想定して選定し
た。

林委員

発電機45キロが2台、50キロ
が1台の3台で、1台常時設置
したら、丸子樋門や吉田樋門で
1台発電機足りなくなるが、も
う1台購入する予定があるの
か。

井原まちづくり振興課長

丸子樋門や吉田地先、近年、
長雨で氾濫されるところも想定
される。

新規の発電機は、財源が伴う
ため、今後も個数やどのような
ものを備えた方が良いか検討す
る。

林委員

丸子邸のところは、3日間大

雨が降った時は、8インチのボ
ンプが34台、50キロの発電機が
11台必要と北海道の水量計算が
されている。

防災体制に備えていただきた
い。

社会福祉協議会の補助金につ
いて、運営補助金、今回の予算
では1182万円となっている
が、1182万円の人件費の固
定では、赤字のままやっていけ
ないという聞いているが、その後、
社会福祉協議会と話をして合意
したのか。

坂本元気応援課長

社会福祉協議会にお伝えし、
ご了承いただいている。

林委員

本来の仕事以外の業務体系で
収入を得て行つてほしいとの事
だが、本来の仕事が疎かになる
ような業務体系になつてはなら
ないと考える。

町も身を切る思いをしてやら
なければ各種団体や町民が納得
いかないが、町長の考えを伺う。

内村町長

長い間社協とも話し合いをさ

せていただいている。

役員の方々もその実情を把握
していただいていたのかどうか
を含めて、今年初めて役員の方
で現状をお知りになった方もい
た。

今後社協のあり方や地域の福
祉を担っていく協議会として必
要なのか、自主的な事業がどう
いったものができるのか、現在
行っている事業の見直し等々も
含めて考えていただくと、ここ
数年、再三お話をさせていた
だいており、今回1182万円
で了承をいただけたと考
えている。

今後もし引き続き社協のあり方
を含めて、議論、協議をさせて
いただければと考えている。

林委員

昨年まで町立クリニックでは
喜らめきの郷の診療委託を受け
ていたが、喜らめきの郷の業務
が多忙で、令和6年度は町立ク
リニックに専念しなければなら
ない。

喜らめきの郷は町長の肝入り
で誘致したが、240万円では
金銭的に少ない。
ただ喜らめきの郷としても2

内村町長

課の異動等々はこれまで私が
なつてから機構改革も含めて
行つたし、様々な事業の状況も
踏まえて、異動を行うという判
断をしていくところだが、これ
まで比較的管理職の大きな異動
はされてなかった。

それぞれの課と事業に応じ
て、今後状況を踏まえて適切に
行いたい。

林委員

課長職も数名、係長職も数名
全く異動していない。
異動によって他の業務を知る
ことが職員のスキルアップに繋
がると思う。

広い知識を持たないと町民に
親切な対応ができないし、それ
がつかないと考える。

令和6年度で新規職員採用は
あるのか。

菊地総務課長

予算に反映している者として
一般職2名、4月1日から採用
の者が1名、これから面接予定
の社会人枠の一般職が1名。
予算の中には含まれてない

40万円以上は難しいと思って
おり、町としてこれらの課題に
間に入って取り組んでいくの
か。

内村町長

委託の関係は、両者の話し合
いが原則的と思う。

町立診療所が現在の体制にな
る時に、院長が土日いないの
で、他の機関への委託もされて
いる。

委託料の関係等々は町で関わ
りを持っていないので、今後町
への支援要請があった場合は考
えさせていただく。

現在、両機関からは、話をい
ただいていないので、協議の要
請等々があれば、町でも様々協
議をさせていただくのは、やぶ
さかではない。

林委員

令和6年度で広域連合の他に
派遣はいるのか。

菊地総務課長

令和6年度は、広域連合への
派遣1名のほか、公益財団法人
北海道市町村振興協会へ2年間
の派遣職員がいる。

が、社会福祉士1名、保健師1
名を募集しており、4名採用予
定で考えている。

林委員

なぜ財政が困窮しているのに
一般職を採用していくのか。

菊地総務課長

確かに、職員給与費が予算総
額の6分の1と大きなポリュー
ムを占めるところなので、財政
の健全化に向けて、ここは一つ
の鍵だと思う。

ただ、今は公務員だからといっ
て簡単に募集できる状況ではな
く、若年層では、転職をするこ
とにためらいもない方が多い中
では、欠員が出たところに埋め
ていく考えで募集をしている。



水防共同訓練

林委員

令和4年度に2名の保健師が退職し、今でも保健師2名を募集しているが、昨年から今年にかけて、保健師の募集に関してどのような対応をしているのか。

東原副町長

令和4年度以降1つは、近隣4か町村で一体となつて道内の保健師を養成している学校等々に直接出向き、卒業生や在校生に町と業務の紹介等を行わせていただいた。

さらに国保連等々で実施している東京での医療職のセミナーにも参加し、4年度5年度と引き続きやらせていただき、担当課長も6年度へ向けても、今まで行っていた学校で説明会を開催させていただいている。

林委員

保健師2名、社会福祉士1名増えてきた場合、今でさえ財政調整基金1億8千万円取り崩さないといけない状況でやっていくのか。

ここは新しい一般職採用控え

るべきだと思うが。

内村町長

2名については欠員を埋めるということである。

人件費等々の様々なものはあるが、業務があるところは、これまでどおり埋めていきながら進めていきたい。

林委員

この間の令和5年度一般会計補正予算（第11回）において、財政調整基金繰入金8467万円減額している。

令和6年度当初予算の見込みで財調が4億2054万6千円に反映されているが、8467万減額して財調に見込んでいくのか。

斎藤総務課長補佐

3月補正を加味したもので基金の見込みを推計している。

林委員

毎年予算で繰越金を1千万円計上しているが、令和4年度の決算は6053万円である。

今までも3千万円から4千万円ぐらいの繰越金になっている

が、これからの決算でどれぐらいの繰越金を予想しているのか。

斎藤総務課長補佐

1千万円予算計上しているが、過去の実績等を鑑みて最低2千万円は出ると考えている。

ただし、財政担当部局としては、極力予算の適正管理の面で、不用額は低く抑えていきたい。

林委員

不用額は令和4年度は6千万円である。

例えば繰越金2千万円プラスして3千万円になると、令和6年度で財調が約2億5千万円になる。

年度の途中でも、このような財政状態で事業の見直をしていかなければならないと思う。

当初予算で議決されても災害など出てきた場合に、事業の見直しについてどのような考えか。

東原副町長

財政が厳しい中で一応当初予算が組めたとしても、本当にそ

のとおりになるのかと思う。

当然6年度分も改めて検討はしていきたいし、7年度へ向けて早い段階で予算の検討をしていきたい。

林委員

建物貸付収入4881万6千円に中山峠の賃貸料も入っていると、金銭的にはいくらか。

井原まちづくり振興課長

4千万円である。

林委員

今回物産館の冷房設備などかなり修繕費が出てきている。どれくらい年間かかってきているのか。

井原まちづくり振興課長

2345万5千円を想定している。

林委員

4千万円の賃貸料で2千数百万円の支出で、水道施設も将来的には1億数千円円修繕料がかかるような状況になる。

町の方や、町村長では中山峠のトンネル化など中山峠の通行

に対して検討している中で維持していけるのか、また建物を将来解体する場合に億の金がかかると思うが町長の考えは。

内村町長

中山峠健民センターの事業が、すでに40年経過しようというところで、建物や水道施設はその前から使用している施設で、相当の年数が経っている。

ただこの水源は向かい側の開発の除雪センターの水道の水源ともなっていることから、整備は十分使える形で進めていかなければならないと承知をしている。

今後中山峠の国道230号線の状況がどうなるか、相当の期間は当然かかるとは思うが、この観光施設が50年、60年という経過をしてきたときに、現在の施設をどうしていくのかは、現在、賃貸をしていただいている事業者の方とも意見交換をさせていただき、また町内の各種事業者の方とも意見交換をしながら進めていくことが肝要と考えている。

菊地委員

地域おこし協力隊が、定住するために行っている活動に対する町の継続的な支援体制のあり方について町長から答弁を願いたい。

内村町長

これまでも町では協力隊の皆さんにできる限り定住していただこうと様々な支援について取り組んできている。

今後においても、町にとっても非常に重要な定住対策の一つとして捉まえながら、国の支援制度も十分活用しながら、継続的な支援に努めたい。

菊地委員

一定程度、定住に結びつくような仕事を本町でして、活動期間が終わった後にはそれを生かして定住していくことも必要ではないかと思う。

単なる募集をするのではなくて、目的に沿った募集をするとか、色々考えることも将来的には必要ではないかと思っているので、再度町長の答弁をいただきたい。

内村町長

協力隊については、目的志向型、それから本町がこれまで取り組んでいる業務委託型というか、協力隊自身が持っているスキル等を生かした業務のあり方の形があるかと思う。

今後においては、町の目的に沿ったような募集のあり方、それから様々な活動のあり方等を検討しながら進めていきたい。

菊地委員

協力隊について、担当課と相連絡を取りながら活動していると思うが、終了後も繋がりを切らないで支援していく体制も必要ではないかと思っている。

内村町長

終了後についても、定住をできるだけ長い期間でできるよう、繋がりを構築しながら、支援を進めていきたい。

山下委員

昨年度、交流事業報償として農業体験のボランティアの支払いがあったが、今年はどうなっているのか。

井原まちづくり振興課長

今年度で企業人が終了することに伴い、政策的な予算も関わることから令和6年度については計上していない。

今後については、野菜収穫体験の他に、企業人が行っていた部分もさらに整理して、どのようなものが望ましいのか、研究していきたい。

山下委員

6年度もやる予定でいるということでよろしいか。

井原まちづくり振興課長

できるかできないかを含め、再度研究していきたい。

山下委員

建物貸付収入が昨年より増えているが、これは郷の駅の家賃収入が含まれているという理解でよろしいか。

井原まちづくり振興課長

そのとおりである。

山下委員

墓地調査報償の内容について

詳しく教えてほしい。

齊木住民課長

墓地調査に随行する熊対策のハンターの報償である。

山下委員

5年度、墓地検討委員会ができたと思うが、墓地検討委員会の報償については計上していないという理解でよろしいか。

齊木住民課長

5年度については、我々の事務の遂行の事情で、栄地区の調査を行っていないので、検討委員会を立ち上げていない。

6年度中には、調査を終わらせて、検討委員会を立ち上げるというところで、改めて補正で対応させていただきたい。

山下委員

双葉の調査は終わったのか。

齊木住民課長

双葉の調査は、12月末現在で委託をしている事業者から、条例上の地番のエリアを、歩いて調査をしたが、墓石あるいは墓標に当たるようなものは一切見

当たらなかったと報告が上がっている。

これについては6年度中に地域の方にもご協力をいただいて、現地に行つて確認をしていただし、それを踏まえて意向を確認していくという形で考えている。

山下委員

地域公共交通について、昨年度、会議が一度開催されたきりで、メンバーの意見などを聞いていると、デマンドタクシーしかないという空気だったと感じていたが、デマンドタクシーをすぐやらない理由は何なのか。

井原まちづくり振興課長

事業者の受け入れ体制である。

山下議員

ふるさと応援寄附金が5年度増えた理由を教えてください。

井原まちづくり振興課長

ポータルサイトを増やした効果がでた。

山下委員

昨年新規事業として始まった

ふるさと応援寄附金強化支援補助金について、昨年度どのような実績があったのか。

井原まちづくり振興課長

実績としては3件あり、既存の商品のラベルとかパッケージのデザインをリニューアルしたもののが2つ、新規の商品を開発したものが1つ。

令和6年度については、5事業分見込んでいます。

山下委員

この応援寄附強化支援補助金の効果は、5年度に関しては、まだそこまでなかったということでしょうか。

井原まちづくり振興課長

1件、2件、それぞれ新規開発されたリニユアルの商品を希望される寄附者もいるので、今後に期待するところである。

山下委員

地域おこし協力隊について、新年度は4人入ると聞いているが、狩猟関係以外の3人は何をやるのか。

井原まちづくり振興課長

観光を目指したいという男性1人、ジムトレーナーを目指したい男性1人、木の加工品を作りたい女性1人である。

山下委員

今年度任期を終了する協力隊は定住する計画はあるのか。

井原まちづくり振興課長

6年度で3名任期満了を迎えるが、それぞれ生業として模索しているところだが、長期的なものについては、月1のミーティング等で、本人の意向等を確認している。

今のところ町を出るといふ具体的な話はない。

山下委員

定住することが最大の目的だと思つているので、町としても、卒業の半年前くらいにはきちんと計画を把握しておかないといけないと思う。

卒業して1、2か月は居たけど無理でしたと、定住に結びつかないおそれもあるので、密に連絡を取り合うことが必要だと

思っている。

内村町長

定住にあたっては、様々課題もあるかと思うので、できるだけ早い段階で、確認と定住後のあり方も含めて、一緒に検討しながら進めていきたい。

山下委員

何年も前から問題となつている留寿都村の生ごみの件で、留寿都村の皆様にご理解ご協力いただけるような啓発に努める予定は任期中にはないのか。

内村町長

これまでも機会あるたびに、村長、それから担当課長同士で、意見交換させていただいている。

留寿都の方でも住民への周知については、都度徹底させていただくということでご協力の要請はしている。

山下委員

3年ほど前、町長がゼロカーボンシティ宣言を行ったが、今後の予定はどうなつているのか。

内村町長

これまでも環境省の補助事業をいただきながら進めてきたが、まだ期限もあるので、引き続き進めていければいいと思う。

ただ、今回私が7月までの任期ということで令和6年度の当初予算では計上していない。

環境省は、本町を再エネ推進交付金事業の重点地域として指定しているので、引き続きできることを願っている。

山下委員

令和4年10月の総務常任委員会でご提出された資料で、6年度に役場や学校に太陽光発電の設置が計画されていたが、できるという理解でよろしいか。

内村町長

こちらについては冬期間の関係とか課題となっている。

山下委員

公営住宅使用料が昨年度より400万円以上減っているが、供給する部屋が減るという理解でよろしいか。

秋山建設課長

入居される方の収入が減ってきたことが主な要因である。

山下委員

子育て支援センター事業費が大きく減っている。運営方法を変更したと聞いたが詳しく教えてください。

坂本元気応援課長

現在、子育て支援センターについては、月・水・金の週3日運営をしている。

令和6年度以降においては、充実を図っていききたいというところで、月曜から金曜まで開設することで考えている。

これまでは社会福祉協議会に委託して、2名のスタッフにおいて実施をしてきた。

令和6年度は、直接町の会計年度任用職員の雇用と社協の委託という形とした。

社会福祉協議会に委託する分の金額が減り、子育て支援センターの事業費が減っている。

山下委員

その会計年度任用職員につい

ては、これから探すという理解でよろしいか。

坂本元気応援課長

基本的には予算成立後、募集ということになる。

山下委員

健康診査受託事業収入が、昨年から見ても大幅に増えているが、詳しい内容を教えてください。

坂本元気応援課長

5年度まで、健診の受託分が主なものになっていた。

6年度は、保健事業と介護予防とを一緒に進めていくのが効率的であると国からも言われており、新たな事業展開を図る。



令和6年度 喜茂別町予算書

小川委員

マイナンバーカードを使って住民票の写しがもらえるコンビニ交付サービスを、京極とか留寿都とかニセコでは取り入れているみたいだが、本町で導入しない理由があれば伺いたい。

齊木住民課長

京極の方式だと導入だけで4500万円かかるし、月々の使用料も数十万円かかる。

留寿都は廉価版で、住民票など限られたものだけとなっているが、その場合においても200万円程度の導入経費がかかり、使用料も年間100万円程度かかり、本町の財政状況を鑑みて、まだだろうという判断が一つ。

そして、実際導入したところで果たしてどれだけの費用対効果が見られるかというのが一つである。

小川委員

備品購入費のイベント用備品289万6千円の内容について伺いたい。

ントにしたいと考えている。

町内の社会福祉法人等も含め、実行委員会組織を編成して、企画等を詰めていきたい。

小川委員

今まで敬老会をやっていた時期に開催するのか。

また、場所は農村環境改善センターを予定されているのか。

坂本元気応援課長

開催時期については、敬老の日に実施したいと考えている。敬老会の式典自体は、引き続き例年どおり行う形で、式典を行った後、お祭りに参加していただく流れで考えている。

会場については、多くの方が集まると想定しているので、現在のところは農村環境改善センターを想定している。

小川委員

蜂駆除業務委託料とあるが、これは民間の家にできた蜂の巣を駆除してもらえという認識でいいのか。

齊木住民課長

公共施設にかかる分のみと

井原まちづくり振興課長

町内団体と、町内会で使用があるテント、椅子及びテーブルを想定している。

従前のテントよりも軽い形状のものを想定している。

小川委員

地域おこし協力隊募集業務の委託料で、令和5年は297万円、前に比べなぜ100万円ぐらいい増えたのか。

また、今回は297万円程度を想定しているのか。

井原まちづくり振興課長

令和4年度と比較して増えたのは、こちらの財源は特別交付税を措置されており、その上限が200万円から300万円に100万円上がった。

PR業務とか担っていた部分も含め、こちらの限度額を活用した内容となっている。

小川委員

どんな感じで人材の募集をかけているのか具体的に伺いたい。

なっている。

小川委員

本町の町民が、他町村に対してふるさと納税をしている総額がいくらかわかれば伺いたい。

菅原税務室長

59件、270万8千円、税額控除は125万574円となっている。

小川委員

新規事業として教職員住宅新築整備工事実施計画業務委託料442万円とある。

場所も移転することだが、将来的な小中学校一貫を見据えてという認識でいいのか。

細田教育長

将来の学校のあり方を考慮して位置を変えることはない。

現在は夜間警備システムが全ての学校に入っているのですが、校長が担ってきた学校の見回り業務の必要性はなくなった。

また、今後は住民との距離を近くして地域性を感じながら学校運営をしていきたい。

今回あえて敷地内にある必要

井原まちづくり振興課長

町内の協力隊OBの事業者に委託を考えている。

過去に福祉人材の募集でも活用した「スマウト」という募集支援システムを活用して担っていた。

小川委員

地域おこし協力隊の活動支援事業負担金200万円の内訳をお聞きたい。

井原まちづくり振興課長

協力隊OBの事業者に対しては60万円、あとはサポートしていただける団体に80万円と60万円である。

小川委員

協力隊のことで、現在、ミーティングを月1回やっているとのことだが、2年前私が予算委員会です質問したときは、週1回やっていると聞いていた。何で週1から月1になったのか、また、月1回でうまくできるのか。

がないので、なるべく町中に移転する形で建てたいと判断した。

令和6年度喜茂別町簡易水道事業会計予算について

越後委員

アドバイザー業務委託料が30万円ずつだったと記憶しているが、アドバイザーはどこまでやるのか詳しく伺いたい。

酒井公営企業準備室長

令和6年度決算支援業務、令和7年度予算編成支援業務、公営企業会計に係る質問事項対応業務が主な業務となっている。事務については、役場職員で実施を行うが、誤りがあった場合には、疑義等生じた際に、専門家の公認会計士等に、質問をさせていただき、日々の業務の確認等も合わせて行っていたと予定としている。

越後委員

アドバイザーにお金を払うのなら、簿記業務に詳しい職員を雇って、これだけじゃなく役場のことを全部できるような人を

井原まちづくり振興課長

協力隊の人数も増えてきており、あと個々人が委託型として生業目指して活動されており、週1だと本来の生業の兼ね合いもあるのでは月1で今はしている。

確かに月1で状況が把握できるのかという意見もあるので、令和6年度の中でどのようなミーティングの持ち方が望ましいのか、引き続き検討したい。

小川委員

ふるさと応援寄附金返礼品について、協力隊の隊員だった方がバットを提供されたと思うが、どれくらい実績があったか。

井原まちづくり振興課長

35人ぐらい応募があった。

小川委員

令和6年度の新規事業として敬老福祉祭があるが、どういうことをやるのか。

坂本元気応援課長

子どもからお年寄りもみんなでお祝いしようというイベ

採用した方が結果的に人件費が安く済むような気がするが。

内村町長

複式簿記に詳しい方を採用することがいいのか、アドバイザー業務で行うのがいいのか、様々メリットデメリットもあるうかと思う。

町としては、できるだけ短期間で、アドバイスをいただきながら、職員ができる体制を作っていければと考えている。有資格の採用の難しさもある。



町民公園 パークゴルフ場

議会の動き

令和6年1月16日～令和6年5月15日

月	日	行 事	出席者	場 所
1	20	喜茂別町老人クラブ連合会 新年会	議 長	
2	14～15	後志町村議会議長会 定期総会・行政懇談会	議 長	札幌市
	21	第1回臨時会	全議員	
		全員協議会	全議員	
	27	後志広域連合議会 定例会	組合議員	倶知安町
	28	倶知安厚生病院運営委員会	議 長	倶知安町
3	6	議会運営委員会	全委員	
	12～18	第1回定例会	全議員	
	15	喜茂別中学校 卒業証書授与式	全議員	
	18	予算特別委員会	全委員	
	20	喜茂別小学校 卒業証書授与式	各議員	
		鈴川小学校 卒業証書授与式	全議員	
	21	羊蹄山麓環境衛生組合議会 定例会	組合議員	倶知安町
		羊蹄山ろく消防組合議会 定例会	組合議員	倶知安町
	23	喜茂別保育所 第65回卒園式	全議員	
4	8	喜茂別中学校 入学式	各議員	
		後志総合開発期成会活動	議 長	東京都
	24	全員協議会	全議員	
	27	喜茂別町老人クラブ連合会 総会	議 長	
5	7	議会広報編集委員会	全委員	
		後志総合開発期成会 総会	議 長	倶知安町
	14	喜茂別町女性団体連絡協議会 解散式	議 長	

編集後記



新たに議会広報編集委員長に就任し、1年が経過しました。一般質問のデザイン変更、専門用語の解説挿入など、少しでも読みやすく、理解しやすく、そして議会に関心を持っていたできるように改革を行ってきました。

まだまだ、できることはありますので、引き続き改革を行っていく所存です。

7月には町長選挙と、それに伴う議会議員の補欠選挙も予定されております。

昨年の町議会議員選挙で、本町は戦後初めて定数割れを経験し、現在一名欠員が生じております。

また、女性議員は一人もいません。

全国的に議員のなり手不足や女性議員の不足は深刻ですが、この議会だよりを手にとった方が、町政に関心を持ち、立候補につながってくれば、こんなに嬉しいことはありません。

議会広報編集委員長

山下 純